

労働運動の原点を堅持し、 既得権防衛の闘いを強化しよう

4/5回支部代
表者会議で決定

日刊 動労千葉

82・4・3

No.1009

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）四三二二・七

4/5回拡大支部代表者会議は、4月1日、13時より、動力車会館において、各支部長・各支部乗務員分科会長・本部乗務員分科会および本部青年部三役が参加して開催された。

「ヤミ・カラ・悪慣行」キャンペーン「すまじい国鉄労働運動破壊・解体攻撃がおどいかかっている。この、かつてない反動攻撃に対し、総評をはじめ、国労、動労中央、全動労をはじめとする国鉄内各労組は、全く反撃の方針を打ち出すことなく、つぎつぎと屈服しつづける。

動労中央に至っては、屈服どころか、逆に、敵の攻撃を先き取りするのよう「この運動」「既得権返上・生産性向上運動」を組合員に強制しつづける。

ゆが動労千葉は、4/5回拡大支部代表者会議において、こうした厳しい状況の下で、だからこそ、労働組合運動の原点を守り、政府自民党・国鉄当局・ブルジョアマスコミと、鉄労分子・動労革マル反動分子のまさに一体化した「臨調」攻撃「ヤミ・カラ・キャンペーン」屈服自主規制路線と徹底的に対決して、既得権防衛の原則的な闘いに総決起することを決定した。

全組合員の皆さん！ 全国の闘う国鉄労働者の皆さん！

今こそ立ち上って、ふりかかろう火の粉をふりまわなければならない。今、国鉄労働運動の闘う伝統を守り切り、国鉄労働者の輝かしい戦闘的底力を守り、発揮し、腹をすえた一大反撃戦にうつて出て勝利する事が、日本の労働運動の総屈服・総雪崩をくい止める重要な歯止めである。この重大な歴史的使命感にもえ立って、今、全国の国鉄労働者は闘わなければならないし、又絶対に闘える。共に前進しよう、

激化する国鉄労働運動解体攻撃に総反撃を

4/5回支部代は、水野副委員長の座長のもとに進められ、まず、副委員長から「①ヤミ・カラ・超勤・悪慣行」キャンペーンが連日行われている。②この攻撃の狙いは、明白に国鉄労働運動つぶしだ。③県警は、ゆが動労千葉に対して、3月27日、8ヶ所におよぶ不当家宅搜索を強行した。④こうした厳しい現状とこれに対する当面の取り組みについて、強固な意志一致をはかりたいとのあいさつが行われた。

つづいて、吉岡組織部長から「情勢と当面の取り組みについて」提起され、中野書記長から「①国鉄をめぐる情勢、②82春闘、③3/27不当家宅搜索、④その他」について補足提起を受け、質疑討論ののち、「当面の具体的取り組み」を全体で確認・決定し、全支部・取場からの総反撃にうつて出ることを意志統一した。

当面の具体的取り組み

〔一〕国鉄労働運動解体攻撃と対決し、反撃に
立ち上る。

②、動労「本部」革マル反動分子追放・一掃、
動労大改革を攻撃的に闘う。

へ具体的取り組み

①、ワッペン着用行動を強化する。

②、取場既得権防衛を組織的に闘う。

③、ピラ・立看闘争を日常的取場闘争と

して定着をはかる。

④、組織的な反撃体制の確立にむけて現在作成中の「職場討議資料」を活用する。

⑤、「本部」解体にむけて、積極的「オルグ」を展開する。

⑥、反動的な「この運動」批判を全国的に展開する。

〔二〕不当家宅搜索抗議の闘い

戦後民主主義を根本から破壊する攻撃であり、現在の反動化を象徴する極めてエスカレートした不当不法攻撃である。具体的には、

①、千葉県警に対する抗議行動。

②、不当搜索、押収品返還を要求する「準抗告」を行う。

③、社会党と連携して、国会法務委員会を迫反する。

④、国家賠償請求訴訟を起す準備をすすめる。

〔三〕82春闘について

鉄鋼一帯低額回答打破・生活防衛。取場既得権防衛・反合・三里塚春闘として闘う。（戦術の基軸）

〔四〕新採獲得・その他

現在、3分の2以上を獲得したが、今後、個別オルグ・歓迎会などを通じて拡大する。

『カナメ商事』新事務所営業開始

カナメ商事は、いよいよ明日から、動力車会館二階の新事務所営業を行うことになりました。全組合員の皆様の御引き立てをよろしくお願いいたします。

専用電話（公衆）〇四七二（二七）六八三三
を新設（鉄電）二九三九 住所：千葉市要町二一八、動力車会館